



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2025 6 月号

Vol.172

毎月1回発行(通巻172号)
編集: 日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0042 東京都中央区入船3-8-7 ザ・ロワイヤルビル5階 TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

第14回
「全国医療経営士
実践研究大会」神奈川大会
演題発表登壇者
募集中!

演題発表という場の活用が 医療経営士を新たな次元へ導く

11月22日(土)・23日(日)にステーションコンファレンス川崎(川崎市)で開催する第14回「全国医療経営士実践研究大会」神奈川大会では、過去最多に並ぶ19枠の医療経営士による演題発表が予定されている。現在申込受付中の演題発表について、その意義を改めて考えてみよう。

発表者自身の成長に加え
新たな交流のきっかけに

全国大会のメインプログラムである医療経営士による演題発表。多くの発表者の感想として共通しているのは、発表という機会を通して自分自身の仕事を見つめ直すきっかけとなり、新たな発見を得られたという成長への実感だ。

今大会でも演題発表の審査委員長を務める当協会理事吉長成恭氏は、本紙2024年6月号掲載のインタビューのなかで演題発表について、「自身の取り組みを客観的に見て文章化する行為は、日々の業務のなかで一度立ち止まって自分の理念、仕事への姿勢を改めて問う機会にもなる」としたうえで、「発表者自身にとって新しい価値の創出につながるはず」だとその価値を語っている。

また昨年の福岡大会で審査委員奨励賞を受賞した医療法人松田会の佐竹直也事務部部長は、発表後のコメントのなかで成長のためにアウトプットが極めて重要とし、「発表を通じて共感する仲間が増え、それは何よりの財産となり、困ったときの良き相談相手となる」と話す。演題発表を行うことで、自分自身の成

長に寄与するということはもちろん、その発表を通して得た新たな人脈の形成は、その後の働き方にも大きく影響してくるだろう。

職員教育の一環として
アウトプットの機会を提供

過去2年続けて受賞者を排出している社会医療法人加納岩(山梨市)の宮沢圭一財団事務局長は、本紙2024年7月号において「全国大会の演題発表を経験させるということは、職員の成長を促すという意味でも非常に有意義だと考えている」と語っている。実際、今年5月に開催された東京・千葉・山梨自主研究会合同研究会では同法人所属の医療経営士による演題発表が行われ、新たな職員

も登壇し、自身の取り組みを発表。全国大会に向けてさらにブラッシュアップを図っていくとしており、法人内で演題発表の場を活用し、職員のスキルアップに努めている。

「全国医療経営士実践研究大会」神奈川大会 演題発表について

- 発表時間: 15分+質疑応答5分
- テーマ: 医療経営士による病院経営改善・改革取り組み事例・具体的実践方法
- 登録資格: 一般社団法人日本医療経営実践協会(以下、本協会)会員(以下、協会会員)に限る。協会会員と共同研究を行った場合については、協会会員以外であっても共同研究者として投稿原稿に記名できる(ただし、演題発表は行えない)。
- 登録の受付条件:
 - 1) 発表者および代表発表者は、登録の時点で本協会会員もしくは本協会への会員としての入会手続きが完了していること。
 - 2) 未発表の演題であること。
 - 3) 倫理的に配慮された研究内容であること。
 - 4) 本規程を遵守していること。

○演題発表者に関しては、〈公募〉19人の上限を設ける。

れることでアウトプットの場を用意でき、職員のモチベーションアップにもつながる効果が期待できる。

登壇に向けた準備はもちろん、多くの聴衆の前に発表するという経験が自信となり、さらなる成長を促すことにもなる。部下の育成に携わるポジションに就かれている医療経営士の方には、職員教育の一環として、ぜひ演題発表の場を活用していただきたい。もちろん、自身が登壇してその背中を部下に見せることも大きな意義があるだろう。

演題発表の申し込みは全国大会の特設サイトから8月20日まで受け付けている。皆さまの積極的な応募をお待ちしている。

第14回

全国医療経営士実践研究大会

神奈川大会

開催日

2025年
11月22日(土)
23日(日)

大会テーマ

医療経営士の原点から考える未来

——強固な経営基盤を確立させる戦略的マネジメント

大会運営委員長

三角隆彦

社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院院長

会場

ステーションコンファレンス川崎

大会特設サイトより
参加申込受付中!

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 taikai@jmmpa.jp

「合格者のつどい」をリスタートして 医療経営士の第一歩をサポート



医療経営士資格取得者に向け、資格取得後の活動例や現場で果たすべき医療経営士の役割等を紹介する場が「合格者のつどい」だ。コロナ禍以降開催がなかったが、この度神奈川県研究会で久しぶりの開催が決定した。同研究会世話人代表の金城悠貴氏（済生会神奈川県病院）に、そのねらいについて伺った。

何かを変えたい思いを
参加者同士で共有しよう

もともと神奈川県研究会自体が「志のネットワーク」を広げていくことが目的で、「この業界をどうにかしたい」と思っている人とながりたいという想いがあります。医療経営士の資格を取った方々にどんな入ってきていただきたかというなかで、合格した方に資格を取ったばかりの方にアプローチしていくためには、「合格者のつどい」という場がもっともふさわしいと考えたことが、開催を決めた理由のひとつです。

思いを出せる場所があった、他にも発信している人がいるんだとわかってもらえると、居場所が見つかるかもしれない。一歩踏み出して資格を取った方たちに「あなただけじゃない、それどころか、実はいっぱいいるんですよ」と分かってほしいという思いが根本にはあります。

私自身、当時の職場で「そんなに頑張らなくていいの？」という声を聞くことがありました。そんななかで医療経営士の資格を取って勉強会に参加したときに、自分と同じような思いを持った方と出会えたことで、だいぶ勇気づけられました。あの頃の自分と同じような環境の方もいらっしゃると思うので、そういう方に「自分は間違っていないんだな」と思ってもらえれば嬉しいですね。

外に出てみることで
中の仕事の質も上がる

神奈川県研究会には病院の方はもちろん、製薬・卸や医療機器、金融の方などさまざまな職種の方が参加しています。そういった多様な性が医療経営士の研究会の特徴であり、いいところだなと思っています。最近では研究会に広告代理店の方が参加してくれていて、医療のことはほとんど知らないのですが、やっぱり視点や発想が私たちと違って面白い。みんな刺激を受けていますし、そういうなかで新たな視点が生まれることにもなります。

そうやって刺激を受けた方が今度は自分で新しく勉強会を立ち上げるケースも出てきました。自分から積極的に外に出て、新しいネットワークをつくっていくことは、非常にやりがいのあることだと思います。

もう一つ期待しているのが、全国の他の支部研究会でも同じように「合格者のつどい」を開催してほしいということです。今回オンラインではなく会場のみでの開催としていますが、やはり熱を伝えて心を動かすには直接会うのが大事なかなと考えています。ですので、ぜひそれぞれの地域で開催して、しっかりと熱を伝えていっていただきたいと思っています。

そういったやり方が古いと思う方もいるかもしれませんが、そうであれば我々が考えつかないような新しいやり方でどんどんやってほしいです。そんな新しい波が生まれることにも期待したいですね。

関東支部 神奈川県研究会 合格者のつどい

- 日時 8月22日(金) 19:00~20:30
- 定員 40名
- 会場 神奈川県民活動サポートセンター会議室305
- 受講料 第43~45回「3級資格認定試験」合格者 無料／日本医療経営実践協会会員 1,000円
- 主催 日本医療経営実践協会 関東支部 神奈川県研究会
- 問い合わせ 神奈川県研究会事務局 mmsoc.kanagawa@gmail.com



最新医療経営

最新情報を踏まえ新たな病院像を描く
「経営の時代」の羅針盤

PHASE3
フェイス・スリー

7月号

好評発売中!!

特集 病院経営に 貢献できる 医療経営士の 育て方

医療機関をマネジメントするうえで必要な医療、および経営に関する知識と経営課題を解決する能力を有し、実践的な経営能力を備えた人材として全国で活躍している医療経営士。現在、全国では約12,000人。病医院に限れば2,000人以上の医療経営士が所属しており、事務職員に資格取得を促す医療機関も出てきているが、有資格者はいるものの十分に活躍ができていないというケースも少なくない。医療経営士が活躍できる病院とそうでない病院とでは何が異なるのか。どうすれば院内で医療経営士が育つのか、医療経営士が活躍できる病院となるための秘訣を探る。

詳細・ご購入は
コチラ



北海道支部

医療経営士×栄養経営士のシンポジウムを開催 持続可能な医療経営を目指し 栄養経営士との合同セミナーを開催

日本医療経営実践協会北海道支部は、7月5日(土)、2025シンポジウム「医療経営士&栄養経営士合同セミナー」持続可能な医療経営への挑戦：物価高騰下での栄養管理と経営最適化の探究」を開催する。開催の経緯と目的、概要をお伝えする。

持続可能な病院給食を どのように考えるか

この度開催されるシンポジウムは、医療経営士と栄養経営士の合同セミナーと位置付けられている。栄養経営士は日本栄養経営実践協会の認定資格で、栄養部門のマネジメントを行う専門職種であり、全国で約600名が活動している。

食材費等が依然として高騰を続けるなか、昨年、今年と2年続けて入院時食事療養費がアップされたものの、現場では厳しいやりくりが続いている。それに加え、委託先の給食会社側では人員不足が顕著となっており、病院給食から撤退す

るケースも少なくない。今後、さらに就労人口も減少していくなかで、病院給食の持続可能性については医療経営士も頭を悩ませているところだろう。

そこで今回は栄養部門のプロフェッショナルである栄養経営士との合同セミナーを企画。給食提供はもちろん、食事・栄養に関わるさまざまな問題について、より深い知見を得る機会となるはずだ。

栄養経営士とのコラボで 新たな知見を学ぶ

今回の企画は北海道支部支部長である溪仁会グループ会長の田中繁道氏の「これからはチーム医療がさら

に重要となってくる。医療経営士も多職種とお互いに切磋琢磨していけるような学びの場を創ってほしい」という想いからスタートしたものだ。その想いを受けた支部事務局の森康一氏(医療法人仁友会本部財務課)

が、以前より知己のあった手稲溪仁会病院栄養部部長で栄養経営士の田中智美氏に相談して企画案を作成、田中支部長×事務局長×北海道支部内の実行委員会です承され、合同セミナーの開催が決定した。田中氏が

すぐに動き、日本栄養経営実践協会の代表理事である宮澤靖氏の招へいを実現させたという。

「今、どこの医療機関でも物価高、食材費高騰のなかで、持続可能な病院給食提供体制の構築が課題となっています。全面委託するにしても、委託先が『もう採算合わないので終わりにします』と言ってきたらどうするかという問題が残

る。そういう部分に対して、宮澤先生の知見が聞けるのは、医療経営士にとって非常に参考になると考えています」(森氏)

宮澤氏は「今こそ実現する！医療経営と栄養経営の相乗効果」と題した基調講演を行う。医療経営士に対してどのようなメッセージを届けてくれるのかを楽しみにしたい。

栄養部門と事務職の距離を ぐっと縮めるきっかけに

医療経営士側からは医療法人仁友会法人本部長で医療経営指導士の平間康宣氏によるプレゼンテーション「各部門の業績を見える化する取り組み」が行われる。同法人で行っている部門別管理システムをベースに栄養部門をどう考えるのか

が解説されることになりそうだ。森氏は「栄養部門単体で見ると赤字だとしても、見えない部分で栄養部門がコスト削減や収入増に

貢献しているのであれば、そこをどう考えるのか」という点に注目、「栄養部門側からの見方も含めて話が広がっていくことを期待しています」と話す。両経営士の合同セミナーだからこそ新たな視座に注目だ。

さらに医療経営士と栄養経営士によるトークセッション「医療経営士×栄養経営士の相乗効果で探る持続可能な経営モデル」も予定されている。

「管理栄養士が自分たちの強みを事務職や経営部門にどう伝えるか、逆に事務職側としてはどのような視点を持って管理栄養士と接しているのかという話ができたらいいなと思っています。普段からもっと気軽に管理栄養士と事務職がコミュニケーションを取り合えばいいですし、今回のセミナーがそのきっかけになってくれれば嬉しいですね」(森氏)

なお、今回のセミナーは昨年5月以降に会員となった医療経営士および栄養経営士については無料で参加できる。試験に合格し、資格は取得したと思うような活動ができていないという方には、この機会にぜひご参加いただき、経営士としての働き方や現場での動き方を学んでいただきたい。

日本医療経営実践協会北海道支部 2025シンポジウム 概要

- 日時: 7月5日(土) 14:00～17:00
※終了後懇親会(情報交換会)あり
- 会場: 札幌パークホテル
- 参加料: 会員: 1,500円 / 一般: 2,000円 / 新合格者: 無料
※詳細はホームページをご参照ください
※懇親会別途4,000円
- 主催: 日本医療経営実践協会北海道支部
- 協力: 日本栄養経営実践協会北海道支部
- 詳細・お申し込み: ピーティックスよりお申し込みください



●お問い合わせ:
日本医療経営実践協会北海道支部事務局
(医療法人仁友会内) 担当: 森
TEL 0166-26-6411

プログラム

【基調講演】

「今こそ実現する！

医療経営と栄養経営の相乗効果」

▶宮澤靖氏

(日本栄養経営実践協会代表理事 /
東京医科大学病院栄養管理科科长)

【医療経営士の演題発表】

「各部門の業績を見える化する取り組み」

▶平間康宣氏

(医療法人仁友会法人本部長 /
医療経営指導士)

【トークセッション】

「医療経営士×栄養経営士の相乗効果で探る
持続可能な経営モデル」

▶ファシリテーター:

小川輝史氏(医療法人溪仁会定山溪病院医療技術部長 /
医療経営士2級)

▶登壇者:

今野信宏氏(社会医療法人孝仁会札幌孝仁会記念病院耳鼻咽喉科
頭頸部外科部長 / 医療経営士2級)

田中智美氏(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院栄養部部長 / 栄養経営士)

【新合格者の紹介】

2024年5月～2025年5月に合格した北海道内の
医療経営士&栄養経営士

事務局掲示板

1級資格認定者のみに許された特権
「医療経営指導士」の制度を活用しよう

当協会では医療経営士1級の方が申請できる「医療経営指導士」の制度を設けています。協会への登録申請(有料)により、「医療経営士」「医療経営指導士」の名称を冠した試験対策講座や研究会・講演会の主催が可能となり、事業に伴う収益を得ることも可能。資格要件や申請方法の詳細については、当協会ホームページでご確認ください。

「医療経営指導士」制度について

<http://www.jmmpa.jp/support/shidoushi/>

医療経営士の所属をPRしよう！
所属先の掲載ご協力をお願い

当協会のホームページでは、会員の皆さまから掲載の同意をいただいて、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ確に解決できる能力を持った医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関のマネジメントを支援できる人材を有する企業であることをアピールすることができます。掲載の同意をいただける方は、下記URLからご登録ください。

【ご登録はこちらから】

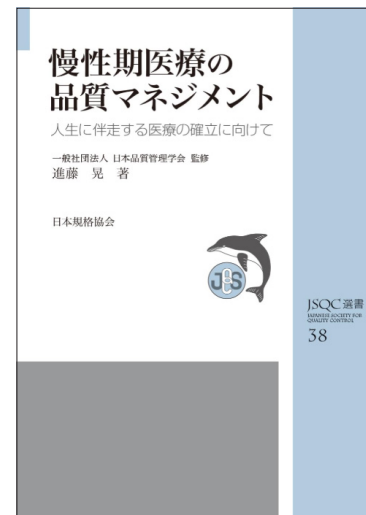
<http://www.jmmpa.jp/support/cat108>

BOOKS

『JSQC選書38 慢性期医療の品質マネジメント
— 人生に伴走する医療の確立に向けて —』品質管理の考え方を適用し
慢性期医療の質の向上へ

高齢化率が30%に届こうとしている今、疾患や障害を抱えた高齢者は今後も確実に増加していく。そのなかで国民が安心して生活していくには慢性期医療の質の向上が欠かせない。本書では、「医療全体の質向上のためには、慢性期医療の質向上が重要である」という考えのもと、産業界の品質管理の考え方や方法論を用いて、医療へ適用する取り組みについて記している。医療機関のQMS(品質マネジメントシステム)に実装すべき経営機能、経営管理の枠組み、問題解決手法、そして著者の経営する病院での事例まで、医療分野における品質管理に関する幅広い内容が述べられている。医療に携わる方には是非ご一読いただきたい。

- 監修：一般社団法人日本品質管理学会
- 著者：進藤 晃(医療法人利定会大久野病院理事長／日本医療経営実践協会関東支部理事)
- 定価：2,420円(本体2,200円＋税)
- 体裁：四六判・288ページ
- 発行：一般財団法人日本規格協会



I N F O R M A T I O N

日本ヘルスケア経営学院 好評配信中！
「医療現場のコミュニケーション&ハラスメント対応スキルアップ研修」各10分のショート動画による構成
多忙な医療職でもスキマ時間で学習可能
新時代の接遇研修講座で学ぼう！

ヘルスケア分野の経営人材を養成・育成する日本ヘルスケア経営学院では、「医療現場のコミュニケーション&ハラスメント対応スキルアップ研修 WEB講座」を配信中だ。

近年、医療現場でもクローズアップされる「ハラスメント」の問題。医師―患者間だけでなく、看護師や事務職員と患者間、そして医療職同士でもさまざまなコミュニケーションエラーが生じ、ハラスメント

につながる可能性がある。

本講座では、そもそもハラスメントはなぜ起こるのか、对患者、医療スタッフ間のトラブルを防ぐためにはどうすればよいのかについて、実践的な対処法を解説している。

講師には医療機関における接遇研修等の経験も豊富な多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏を迎え、1本約10分の動画5本で構成。研修の時間を取ることが難しいメディカルスタッフが短時間で学ぶことができるようになっているので、ぜひ自院の医師や看護師への研修教材としてご活用いただきたい。

■ 講義内容(各動画とも約10分)

①ブランディングの鏡

現場は常に1対1「真実の瞬間」の判断は個人／NPSは顧客ロイヤリティを定量的に測る指標／患者さんの反応は自分たちの行動を映す鏡 ほか

②医療現場のトラブル対応

職場内コミュニケーションの課題／コンフリクトはフレームの違いが招く理解の違いで生まれる ほか

③医療現場のハラスメントの仕組みと対処法

ハラスメントは行う方の意識の有無に関係ない／「患者の権利と責務」とハラスメント／誰でもハラスメントの加害者になるリスクがある ほか

④コミュニケーションスタイルを知ろう

職場の4つのコミュニケーション形態／自己表現のタイプを知ろう／メッセージの伝え方、言葉の選び方 ほか

⑤コミュニケーションスキルアップ

チームのコミュニケーション力アップは医療安全を推進する活動につながる／コミュニケーションスキルによる医療安全推進策Team STEPPS ほか

■ 概要

- ▶ 受講料(税込)：4,400円
- ▶ 講義時間：各10分程度(全5本)
- ▶ 受講期間：20日間
- ▶ 講師：石井 富美(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
- ▶ URL：<https://hcmi-s.net/weblesson-hcm/if-03/>



受験エントリーまもなく締切! ➡7月1日㊦まで

第13回

医療経営士

1級

資格認定試験

試験日

受験形式

試験エントリー期間

7月1日㊦～7月30日㊦

第一次試験

9月7日[日]

- ①短文記述形式(10題・90分)
- ②論文記述形式(2題・90分)

受験料支払締切日

7月31日㊦

受験料

50,000円

※税込、振込手数料別途(受験者負担)

第二次試験

12月7日[日]

面接試験

- ①口頭試問(プレゼンテーション形式)
- ②個人面接

試験会場

東京都(中央区内)

医療経営士の最上級位にチャレンジしよう!